

## 創刊号へのご感想ありがとうございました

3月に創刊した本誌へのご感想をたくさんの方からいただきました。

紙面の関係上、すべてを掲載することはできませんが、今後希望する記事や内容についてのご意見ご要望を、2、3ご紹介します。

- ◆「女性学」と「男性学」を半々にして「ジェンダー病」を削ぎ落とす啓蒙を!
- ◆学校に通っている子供たちへの幼少からの教育について
- ◆先進諸外国の状況 など。

その他、編集委員へへの激励の温かいお言葉も多数いただきました。そのメッセージの中には「がんばってください」という、ともすれば他人任せな言葉ではなく、「がんばりましょう」と共に歩む気概のようなものを感じて、大変心強く感じました。今回は先のご意見を受け、現在大分市に在住の外国人の方々にお話しを伺ってきました。引き続き2号へのご意見ご感想等もお寄せください。皆様から寄せられましたご意見の一部は、本誌リクエストシリーズのコーナーで活かさせていただきます。

# 川柳

(選評)

大分合同新聞社文化部長  
加兒敦彦氏

お互いを尊重し、助け合う「男女共同参画」をテーマにした川柳を市民の皆さんに募集しました。この中から優秀な作品を10点とりあげました。

### ▽最優秀賞

父さんのやる気が花のエプロンに  
富成 千里

### ▽優秀賞

今は世話いつかは世話に今を生き  
生野 幹夫  
ありがとう上手に使う名上司  
中森 順和

### ▽佳作

急須持つ課長の小指ちよっと立ち  
富成 千里  
我が家では子育て励むおとうさん  
松原 利吉  
年収差家の中での権力差  
橋本 千澄  
共稼ぎやっとなった鬼小屋  
分藤 雅美  
有難う輪番制で骨休め  
後藤タネ子  
梅雨明けの私も愚痴はやめましよう  
丹生 文子  
家事分担暮らしに張りの三世代  
佐藤 昭徳

簡潔にしておかしみがあり、風刺が利いて機知に富む「川柳」に求める読後の心地よさはこうした味わいだろう。昨今の疲弊した世情は、二十世紀の末になってやっとなどどり着いた「男女共同参画社会」の新展開をも覆い隠してしまいたいような雲行き。とはいえ、家庭で、地域で、職場で起き立つ男女共生の実践は、新世紀に真っ先に到達しなくてはならない命題には違いない。

「家庭」を詠んだ作品が多い。夫が妻を見、妻が夫を見て共生を考える。職場では部下が上司を見る。こうした身近な存在を詠む時、ともすれば作品は粗雑さに陥りやすい。お互いに別点や欠陥がよく見えるためだ。それだけに作品の一つ一つには特に、ホッとするような快いおかしみがほしい。この快さこそ、詠み人の、心の写し絵、そのものなのだ。

テーマを逸脱した作品は論外として、相手を揶揄(やゆ)するような表現作品、標語になった作品は除いた。「父さんのやる気が花のエプロン」には、もうそんなに若くないお父さん、そのお父さんの価値観にはオヤジが家事をやるなんて、とたたくなな気持ちも強かったんだけれど、台所に立って、洗い片づけでもしている。妻や家族に随分、小言を言われた後のやる気かも知れないが、今は生き生きと家事をやっている。花柄のエプロンであっても、家事をこなす姿全体に花丸印であっても、家中が何だか元気いい。「共生」はこうでなくっちゃあ。

求む!

## ボランティア 編集委員

この情報誌にあなたの感性を求めます。男女共同参画社会づくりに向けた情報誌です。  
市民と行政とのかけ橋として、さまざまな立場から参加してみませんか。

- 募集人員…男女若干名
- 内容…年2回発行予定。編集委員として、編集会議の他、取材・執筆・イラスト等で紙面づくりに協力できる方
- 応募方法…男女共同参画社会に対する考え、活動歴および応募動機を400字詰め原稿用紙1枚以内にとまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記のうえ応募ください
- 受付…随時
- 応募先…〒870-8504 大分市荷揚町2番31号  
大分市女性政策推進室